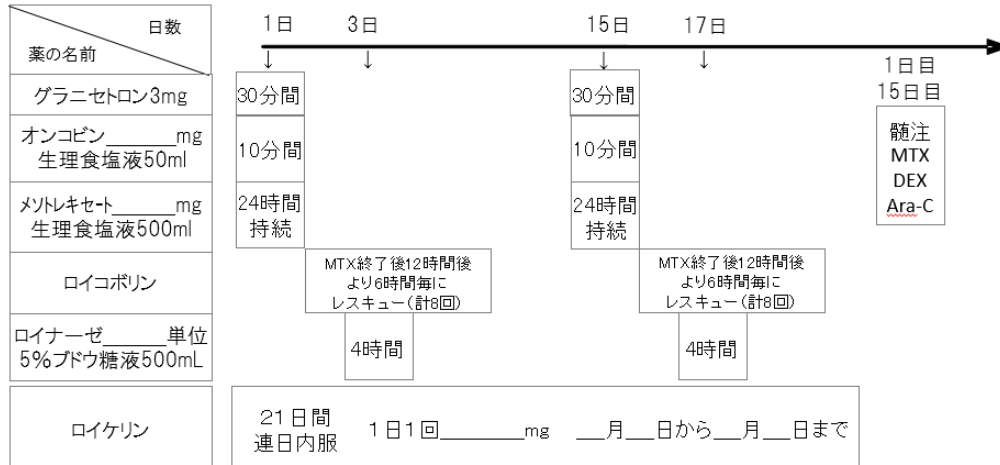


Ph(-)B-ALL213地固め療法②の治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール

※投与量・日数、休業期間など変わる事があります。



公立藤岡総合病院 薬剤部

★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

＜血液検査からわかる副作用＞

白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後10～14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！ 白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。



貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

＜ご自身でわかる副作用＞

悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。治療時期に合った吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

脱毛

抗がん剤の種類や患者さん個人によって違いはありますが、治療開始2～3週間後から抜け始めます。髪以外の部分（まゆ毛、ひげ、体毛など）でも同様におこります。治療が終了すれば、少しずつですが生えてきます。

⇒脱毛が気になる場合は、医療用かつらやウィッグ、帽子などをお勧めします。

口内炎

治療開始1週間ほどで口の中や歯肉がしみる、ひりひりする、赤くなるといった症状が出ることもあり、うがい薬や口腔用の軟膏を使うことがあります。痛くて食事がとれない場合は、病院へ連絡して下さい。

⇒こまめにうがいや歯みがきをして、口の中を清潔に保って下さい。

下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを服用して下さい。下痢止めを2回服用しても、よくなる場合は、病院への連絡が必要です。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は、水分をしっかりととりましょう。

便秘

便が硬くなって排便しづらくなることや、お腹が張ることがあります。

⇒便を柔らかくしたり、腸を動かすような薬を使って排便をうながします。

皮疹

皮膚が赤くなったり、かゆみをとまなうことがあります。症状が強く出た場合は、ぬり薬や飲み薬を使うことがあります。

中枢神経障害

思うように歩けない、ことばが上手く話せない、筋力低下などの症状が現れることがあります。投与後3～12日目に現れることが多く、徐々に元の状態に回復します。

★すぐに連絡をいただきたい副作用



- ★「階段を登ったり、少し無理をしただけで息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。（間質性肺炎）
- ★「発熱する」、「吐き気・嘔吐」、「急に激しくおなかが痛む」などの症状。（重篤な急性膵炎）

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。